

(参考)

航空・鉄道事故調査委員会「東日本旅客鉄道株式会社羽越線列車脱線事故 鉄道事故調査報告書」(平成20年4月2日) 所見の概要について

所見1 強風対策についての検討

- (1) 自社の風速計、気象情報の有効活用による強風状況の把握及び監視体制の充実を図ること。
- (2) 列車の走行速度の向上、車両性能の変化、防風柵の設置等、強風下において列車の運行に影響を及ぼす要因を総合的に勘案した強風対策を検討すること。

所見2 突風対策の研究

- (1) 気象分野の新しい動きに関心を高め、気象観測技術や情報処理技術などの進歩にも注目し、広く研究を重ねることにより、実効性のある突風対策の実現に向けて取り組むこと。
- (2) 竜巻注意情報等について、的中率の向上やより細かい格子情報としての提供を行うなど、社会のニーズに適確に応えるよう対処すること。